

2026 年 度

第 3 年次編入学学生募集要項

教 育 学 部
法 学 部
経 済 学 部
創 造 工 学 部
農 学 部

2025 年 2 月

香 川 大 学

【第3年次編入学試験日程概要】

区 分			募集人員	出願期間	試 験 日	合格者発表	入学手続期限
教育学部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程		若干人	8月19日 ～8月25日	9月11日 ※（12日）	10月2日	2026年 3月15日
法学部	昼間 コース	法 学 科	10人				
経済学部	昼間 コース	経 済 学 科	20人	6月9日 ～6月13日	6月28日 ※（29日）	7月16日	
創造工学部	創造 工学科	造形・メディアデザインコース	20人 (推薦含む) (注)	5月7日 ～5月13日	5月31日 ※（6月1日）	6月10日	
		建 築 ・ 都 市 環 境 コ ー ス					
		防 災 ・ 危 機 管 理 コ ー ス					
		情報システム・セキュリティコース					
		人工知能・通信ネットワークコース					
		機 械 シ ス テ ム コ ー ス					
		材 料 物 質 科 学 コ ー ス					
農学部	応 用 生 物 科 学 科		若干人	5月7日 ～5月16日	6月12日 ※（13日）	7月11日	

※志願者が多数の場合は、面接を2日間に分けて実施することがあります。

(注) 創造工学部の募集人員には、別途実施するイノベーション創造型連携教育プログラム特別選抜（若干人）を含みます。

目 次

I	入学者の受入方針	1
II	募集人員	12
III	編入学の時期及び編入学年次	12
IV	出願について	
1.	出願資格及び要件	
〔1〕	【教育学部】、【法 学 部】、【経済学部】、【創造工学部】〈一般〉、【農 学 部】	13
〔2〕	【創造工学部】〈推薦〉	14
2.	出 願 手 続	
〔1〕	出 願 期 間	15
〔2〕	出 願 方 法	15
〔3〕	出願書類等提出先	15
〔4〕	出 願 書 類 等	
(1)	【教育学部】、【法 学 部】、【経済学部】、【農 学 部】	16
(2)	【創造工学部】	18
〔5〕	出願上の注意事項	20
3.	選 抜 方 法 等	
	【教育学部】	21
	【法 学 部】	21
	【経済学部】	22
	【創造工学部】	22
	【農 学 部】	24
4.	試験の日時及び場所等	
〔1〕	試 験 の 日 時	25
〔2〕	試 験 の 場 所	25
〔3〕	受験上の注意事項	26
5.	合 格 者 発 表	27
6.	入 学 手 続	27
7.	個人情報の取扱いについて	28
8.	障害等のある入学志願者との事前相談について	29
9.	編入学後の履修について	30
10.	そ の 他	30

V 入試情報の開示について

- | | |
|------------------------------|----|
| 1. 入学者選抜試験における個人成績等の開示 | 30 |
| 2. 入 試 問 題 の 閲 覧 | 31 |

VI 試験場案内図

- | | |
|---------------------|----|
| 1. 香川大学試験場案内図 | 32 |
| 2. 香川大学建物配置図 | 33 |

VII 添 付 書 類 等

1. 編 入 学 願 書
2. 志 望 理 由 書 (様式1)
3. 推 薦 書 (様式2)
4. 専修学校専門課程修了等証明書 (様式3)
5. 在 学 期 間 等 証 明 書 (様式4)
6. TRANSCRIPT OF RECORD (様式5)
7. 調 査 書 (様式6)
8. あ て 名 票 (様式7)
9. 入学試験個人成績等開示申請書
10. 受験票等送付用封筒
11. 出 願 用 封 筒

I 入学者の受入方針

香川大学は、「世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」という大学の理念にふさわしい学生を求めています。

各学部、学科・課程の具体的な入学者の受入方針は次のとおりです。

教育学部

1. 教育理念

香川大学教育学部は、学校教員をはじめ教育者を養成し、広く教育界に貢献することを理念とします。今日の学校教育の現場には、急激な社会の変化の中で、教科に関する新しい学力をどのようにつけるか、子どもたち一人一人の自己実現をどのように支援できるかなど、人間形成に関するきわめて重要な課題があります。また急速な少子・高齢化、情報化社会の進展、切実さを増す環境問題、多文化社会における共生の在り方などの問題は、生涯にわたる教育の必要性和新たな教育的課題を生み出しています。このような教育に関する課題に柔軟かつ積極的に対処できるように、人間の発達・形成に関する教育研究を基礎に、教育に関する総合的な教育研究を行い、教育実践力を有する学校教育教員及び広く教育界で活躍できる人材の養成を目指します。

2. 教育目標

教育学部では、その教育理念に基づき、豊かな人間性と教職への強い使命感をもつとともに、社会の変化やニーズを適切に踏まえ、学校教育が抱えるさまざまな現代的教育課題に協働して対処することができる、専門的知識と実践的指導力を備えた教育者を養成します。

3. 教育内容

教育学部では、学部の教育目標に沿った4年間一貫教育を行っています。

1年次は各コースに所属し、全学共通科目と学部共通科目を中心に学び、教職に関する基礎とともに、自分の興味や関心を探求し視野を広げます。2年次以降は、より実践的で専門的な授業科目を履修していきます（小学校教育コース及び中学校教育コースでは、2年進級時に所属する領域等を決定します）。特に3年次以降の教育実習を中心として、教科内容の学習や教科外の諸活動を行う中で、それぞれの課題を発見し、解決する能力の育成を目指しています。4年次の卒業研究では、それぞれの具体的な課題に取り組み、専門分野の総合的学力を高めます。

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

*大学（2年次以上在学）、または、これに相当する機関等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

*学校教育に携わる上で基盤となる論理的思考力や判断力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

*多面的な視点から思考し、自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊学校教育に高い志と強い関心を持ち、継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

＊様々な課題にチャレンジする積極性を持ち、経験の積み重ねを通して将来へのビジョンの構築に努める能力

⑤倫理観・社会的責任

＊教育者を目指す者として、また社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

ボランティア活動や学校内外での諸活動で教育に関する何らかの実践を経験するなど、子どもの理解と教育に携わる意欲を持ってください。

教育者を目指す者として他者の意見や価値観を尊重し、他者を思いやることができるコミュニケーション能力が必要とされるので、幅広い視野と主体性・協働性を養い、自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

第3年次から教育実習が予定されており、編入学後はただちにそれに向けた専門科目の修得が求められます。そのため、子どもの理解と教育に携わる意欲を備え、志願するコース・領域についての学習の基礎が達成されていることを必要とします。

5. 入学者選抜の基本方針

入学者の選抜は、論述試験（筆記試験）、面接、志望理由書、および調査書を総合して行います。論述試験（筆記試験）は、志望するコース・領域に関連した問題が出題されます。論述試験においては、知識・技能・思考力・判断力・表現力を評価します。面接の内容には、コース・領域に関連した専門的素養を含みます。面接・調査書等においては大学生としての資質、創造的な探求心や勉学意欲、人間性（倫理観・社会的責任など）、学校教員を目指す者としての適性（主体性、多様性、協働性など）を評価します。

法 学 部

1. 教育理念

香川大学法学部は、四国で唯一の国立大学法学部であり、高等裁判所をはじめとする重要な官公庁の位置する地の利を活かし、全国的にも高い評価を受ける教育研究を行うことを目指しています。

香川大学法学部は、開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的の市民を育てます。さらに、法学的素養を備えた専門職業人を養成します。

夜間主コースにおいては、社会人としての幅広い判断力や、専門実務能力である政策遂行能力を育成します。

2. 教育目標

香川大学法学部では、その教育理念に基づき、開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的の市民、法学的素養を備えた専門職業人を育成します。すなわち、世界の多様性とそこから生ずる諸問題を把握し、その解決に向けての法律学・政治学の基本的理念の知識を適切に用いて自他の尊厳を守ることができる人間を育成します。

3. 教育内容

このような教育目的を達成するために、基礎から比較的高度な内容への段階的履修、ゼミナールを中心としたきめの細やかな少人数及び双方向の教育、希望する将来の職業に応じて重点の異なる法律職コース、公共政策コース及び企業法務コースの3コース制による教育を実施しています。

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識及び技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊物事をさまざまな角度からとらえ、筋道を立てて考える能力

＊紛争解決及び政策立案のために必要な論理的な思考力と判断力

＊文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力を持って表現できる能力

＊相手の意見からも学び、議論をリードし発展させることのできる能力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊正義と衡平を追求しそれらを社会に実現しようとする意欲と態度

＊現代社会の動きに常に関心を持ち、書物や新聞を通して、広く社会で生じていることに対する問題意識を深め、自分の意見を形成できる能力

⑤倫理観・社会的責任

＊社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解し、自律的に行動できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

本学部に入学者を希望する人は、入学後の教育に対応できる素質を養うため、高等学校において文系・理系にとらわれない幅広い学習をしてください。高等学校で学ぶことは、大学教育の前提となるものです。まずは英語及び国語の基礎的な能力を身につけて、国際的な視野と多様性への理解、思考力・表現力を養ってください。また法学・政治学は社会科学ですから、地理・歴史や公民など社会科の科目で学んだ知識も入学後の学修内容と深く結びつきますので理解を深めてください。さらに数学や理科の学びによって培われる論理的思考力は、法学・政治学の理解や様々な課題解決を考える上で重要です。このような高等学校における幅広い学びを通じて、法学・政治学の教育の前提となる知識や思考力・表現力を修得するとともに、社会の出来事に対する問題関心・意欲を身につけ、多様性を尊重し他者と協働することの重要性と、社会の構成員としての倫理観・社会的責任を理解してください。

5. 入学者選抜の基本方針

筆記試験（小論文及び英語）と面接を通じて、3年次編入に必要な学力、法学・政治学の知識を確認します。特に、小論文と英語を通じて論理的思考力と表現力、社会の出来事に対する知識や問題関心・意欲、多様性への理解度を評価します。面接では志望動機のほか、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任の観点を評価します。

経 済 学 部

1. 教育理念

香川大学経済学部は、経済や経営に関する世界水準の研究教育活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念とします。学士課程では、豊かな人間性と高い倫理性の上に、幅広い基礎力と経済や経営に関する専門知識や多様な価値や文化に対する深い理解に支えられた課題探求能力を備え、国際的な視野で地域社会において活躍できる進取の気象と共生の精神に富んだ教養豊かな経済人を育成することを目指します。

2. 教育目標

経済や経営に関する専門知識を活かし、多様な価値や文化に対する深い理解を背景として、国内外で活躍できる力を身につけます。

【専門分野に対する優れた能力】

経済の仕組み、企業の活動、世界の社会・歴史などに関するさまざまな現象から、自ら課題を発見し、それを探求・解決するための専門的知識を学びます。さらに知識を活かすには実務的な処理能力を兼ね備えている必要があります。理論と応用が有機的に結合した実行力を身につけます。

【経済人としての幅広い視野】

現代社会が求める経済人は、柔軟な視野にたち、コミュニケーション能力を備え、社会と積極的にかわることのできる人材です。世界の諸文化について幅広い知識を持ち、多様な価値観を理解できるようにします。

【情報を分析し発信する能力】

今日の社会は複雑化した経済情報、国境を越えた世界中のあらゆる情報に満ちあふれています。必要な情報を迅速かつ的確に収集し、分析する能力を身につけるだけでなく、自ら情報を発信する力を身につけます。

3. 教育内容

経済学部学生が学ぶ授業科目は、「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は、主に1年次の全学学生を対象に開設される教養教育科目です。学部での専門教育を受けるために必要な基礎的学力や学習の方法、他の分野の幅広い知識や考え方を身につけます。

「学部開設科目」は、学部学生を対象に開設する授業科目です。学部開設科目は、課題探求能力や実務処理能力を身につけるための科目であり、各専門分野を体系的に学べるように授業科目を用意しています。学部教育の根幹科目として、3年次履修の「演習」及び4年次履修の「卒業論文」を必修科目としています。

また入学後に、各学生は自分の興味・関心・適性、将来の進路等を考慮して、以下の5コースのうちからどれか一つを選択し、より専門性を深めるための科目を中心に学んでいきます。

【経済・政策分析コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済学の理論的・実証的手法を体系的に修得し、複雑な経済現象の本質を論理的思考に基づき理解する能力を養います。その上で、人びとの幸福の達成に向けて、経済のメカニズムを分析し、日本経済及び世界経済の課題やそれに対する政策の検討を行います。さらには、提言を行うための課題探求・解決力、コミュニケーション力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

公務員、自治体・企業の調査分析部門

【会計・ファイナンスコース】

(学修する内容と身に付ける力)

財務会計、管理会計、会計監査等の会計学分野について、主に企業行動を対象に段階的かつ網羅的に学ぶことで会計情報を読み解く基礎から応用に及ぶ能力を身につけます。また、金融論、経営財務、保険論及び財政学の分野について、政府の政策や企業行動を対象として学修することで、ファイナンス領域に関する深い理解力と洞察力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

金融機関、企業における経理部門・財務部門、会計ファイナンスの能力を生かせる官公庁（国税庁など）

【経営・イノベーションコース】

(学修する内容と身に付ける力)

戦略と組織、マーケティング、イノベーション、企業の社会的責任など、経営学に関わる幅広い内容を学修します。また、ビジネスの視点から問題解決にあたり、新たな価値を創造する上で必要となるコミュニケーション能力、課題探求・解決能力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

民間企業（製造、卸・小売業）、官公庁・金融機関等における創業支援・経営支援の業務、起業

【観光・地域振興コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済学・経営学をベースに、観光学、地域活性化論等により地域振興・経済活性化に向けた観光資源等の活用方策を考える基礎的能力を身につけます。さらに、観光に必要な調査法やフィールドワークにより、地域振興に必要な実践的能力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

公務員（観光振興、地域振興）、公益法人等（JA、生協、商工会議所）、観光業、地場産業等の企業

【グローバル社会経済コース】

(学修する内容と身に付ける力)

経済活動の国際的展開と多様な社会現象に対応するため、経済学をベースに世界各地の経済や社会・文化を幅広く学修します。その上で、世界を舞台に活躍するのに必要な問題解決能力とコミュニケーション能力を身につけます。

(想定している卒業後の進路等)

国内外の企業（国際部門など）、公益法人（JICAなど）、NGO、新聞社などのメディア

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

*経済の仕組み、企業の活動、世界の社会・歴史などに関する専門性の高い学問を学び、研究活動を実践するための、他大学や短期大学、専門学校等2年間の高等教育における幅広い学習に基づいた知識・技能・理解能力

②思考力・判断力・表現力

*経済・社会におけるさまざまな現象において、解決を必要としている問題を発見・探求し、自分の

考えを論理的にまとめて、他者にわかりやすく伝える思考力・判断力・表現力

＊情報伝達の高度化・迅速化が進む社会において、必要な情報を収集・分析し、自ら情報を発信することができる能力

③主体性・多様性・協働性

＊柔軟な視野にたつて社会と積極的にかかわり、コミュニケーション能力を備え、多様な価値観を理解できる主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊経済・社会に関するさまざまな現象に興味を持ち、従来の考え方にとらわれず積極的に新しい物事に取り組んでいこうとする関心・意欲・態度

⑤倫理観・社会的責任

＊グローバル化する社会において、地域に根ざしながら世界と連携し共生するために、自己が果たすべき社会的責任や備えるべき倫理観を理解し体現する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において学ぶ、英語、数学、国語を中心とした基礎学力に加えて、他大学や短期大学、専門学校等2年間の高等教育において、自分の意見を論理的かつ説得的に発表する能力、経済や経営、各国の社会等についての基礎的な知識を修得していることが必要です。さらに、本学部において積極的かつ主体的に専門的知識を学ぶ意欲を持っていることも必要とされます。

5. 入学者選抜の基本方針

編入学生は編入後すぐに演習や専門科目を履修する必要があることから、自分の意見を論理的かつ説得的に述べる能力に加えて、経済や経営、各国の社会等についての基礎的な知識を修得しているかどうか、さらに積極的かつ主体的に専門的知識を学ぶ意欲を持っているかどうかを英語、小論文と面接で評価します。英語では、大学2年生程度の語学力を想定した、英語会話や英語文書を解釈する知識・技能を評価します。小論文では、思考力・判断力・表現力や経済・社会等に対する関心・意欲・態度を評価します。特に資料を的確に理解し分析できているかという点と、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかという点を評価します。面接では、思考力・判断力・表現力や主体性・多様性・協働性、経済・社会に対する関心・意欲・態度、自己が果たすべき社会的責任や備えるべき倫理観への理解を評価します。特に出願書類に基づいて質問し、的確な応答をしているか、発言に説得力があり分かり易いか、社会問題について関心があるかなどの観点から評価します。なお、面接内容には、専門的素養を含みます。

創造工学部

1. 教育理念

我が国のものづくり産業は「大量生産」「大量消費」の時代から、「ものづくり」さらには「ことづくり」におけるイノベーション創出の時代に変遷しており、人々の多様なニーズに柔軟に対応できる個性豊かで付加価値の高い「もの」や「こと」を創り出す「デザイン思考能力」を有する人材が必要とされています。さらに、「もの」や「こと」が創造的で新しいものであればそれを実現するためには相対的に高いリスクが存在し、また、「もの」や「こと」には平時にのみならず危機に瀕しても価値を発揮することが求められていることから、「リスクマネジメント能力」を有する人材も必要とされています。創造工学部は、これらの能力を備えた「次世代型工学系人材」を輩出するため、以下の

ような教育理念を定めています。

香川大学創造工学部では、人間とその生活を取り巻く自然に焦点を当て、人間と自然が調和的に共生できる文化・安全・産業の創造を目指し、専門的基礎能力に裏打ちされた幅広い工学のバックグラウンドを持ち、国際社会で尊敬される良き市民としての個性豊かな技術者を育成します。

2. 教育目標

創造工学部では、以下の素養を育成することを目標としています。

- 1) 専門分野を問わず工学系人材として必要な数理的基礎力
- 2) 高い倫理観とそれに裏打ちされた対人コミュニケーション力及び異文化コミュニケーション力
- 3) 地域を理解し、地域と協働して価値の創造を行う力
- 4) 審美力、多様性理解力、企画力、プロトタイプング力などを統合したデザイン思考能力
- 5) 様々なリスクを把握・抽出し事前に対応策を講ずるとともに、想定外の事態にも対応できるリスクマネジメント能力

3. 教育内容

創造工学部では、工学の専門家としての素養を身につける「学部開設科目」を学びます。「学部開設科目」は、エンジニアとしての倫理観、コミュニケーション能力、デザイン思考能力、リスクマネジメント能力などを身につけるための学部共通科目と、それぞれの分野の専門を深めるための専門科目に大別されます。

創造工学部は、「文化の創造」「安全の創造」「産業の創造」を担う人材が備えるべき専門性を育成するため7つのコースを開設します。各コースは以下に掲げる人材を育成するため、それぞれの特性を持った「専門科目」を提供します。

【造形・メディアデザインコース】

香川県は、美術・建築・工芸等の分野で、瀬戸内の自然や風土に育まれた優れた伝統・文化を持ちます。その価値を、今日的視点で多角的に研究・継承し、芸術的視点で統合しながら、工業製品・情報メディア等の造形・デザイン・制作に貢献できる創造的な人材を育成します。実践的なカリキュラムによって、優れたコミュニケーション能力、表現力を育成し、工業製品のデザイン、情報メディア・コンテンツのデザインに貢献できる人材を育成します。

【建築・都市環境コース】

少子高齢化や地方経済の衰退が進行するなかで、地域の限られた人的及び物的資源を活用し、安全・安心で快適に暮らすことができる地域社会の構築を目指し、建築、土木、環境等の関連分野を俯瞰し、これらを活かした質的価値の高い“くらし”をデザインできる技術者を養成します。関連分野の基礎知識の習得に加えて、地域固有の自然環境や歴史文化、社会基盤、種々の建築物など社会を構成している諸要素に関する多様な技術を学び、資格を取得できます。

【防災・危機管理コース】

日本は首都直下地震や南海トラフ巨大地震のような国難といえる巨大自然災害だけでなく、国を超え地球規模の様々な危機にも直面しています。また、現在のようなグローバル化した世界では、ある地域の災害や事変が世界を震撼させる可能性もはらんでいます。本コースでは、地域の強みと弱みをよく知り、経験だけでなく人類や地球の歴史からも学び、何が脅威になるかという予見能力を持ち、ハードウェア、ソフトウェアとヒューマンウェアを組み合わせ、危機を未然に防止し、防止できないときには危機が災害に、災害が破局に拡大しないように対処できる人材を育成します。

【情報システム・セキュリティコース】

ネットワークの急速な発展により世界中の情報システムは相互に接続されグローバル化しており、ユーザーフレンドリーでかつサイバー攻撃への耐性など高いセキュリティを持つ情報システムが求められています。本コースでは、このような要求に応えるために、グローバルなネットワークを利用するクラウドやビッグデータなどを対象とする情報システム技術、高い信頼性や安全性を確保するセキュリティ技術、利用者の立場で情報システムを設計できるヒューマンインタフェース技術を身につけ、地域、日本、世界からの情報システム・セキュリティのニーズに対応した情報システム設計ができる人材を育成します。

【人工知能・通信ネットワークコース】

私たちの生活を一層豊かで便利にするために、身の回りのあらゆるものを通信ネットワークで結び、人工知能（AI）を用いて自動化する技術や将来予測・意思決定に役立てる技術の開拓が求められています。本コースでは、これらに必要な人工知能、無線・光通信ネットワーク、計測技術等を身につけるため、人工知能の基礎・応用、これらの電子回路への実装、電気・通信ネットワーク系の基礎・応用を学びます。

【機械システムコース】

社会に貢献できる「付加価値」のある製品やサービスの提供を目指し、「先端的なものづくり」をリードする高度な機械系技術者を養成します。機械工学の基礎として解析力、力学、制御技術、設計・製図を身に付け、その上で、高度な機械システムを形成するために必要な電気電子、情報分野の知識についても学びます。そのため、自動車、電機、情報、鉄鋼、医療機器など機械システムに関わる様々な分野で技術者として活躍できます。

【材料物質科学コース】

物質に対する化学や物理の理解を深めることは、材料科学の基礎であり、安心・安全で持続可能な社会の実現と省エネルギー・省資源化に貢献する先端材料の開発に不可欠です。新材料の創造は常に世界の先端技術をけん引しています。本コースでは、社会に貢献する新しい材料をつくり出すという視点から、材料・機械・電気・化学・物理・生物などに細分化されている学問を「環境材料化学分野」、「機械材料科学分野」、「光・電子材料科学分野」の3つに統合し、自然界の原理・原則・現象の理解を基礎とした幅広い実践的な教育研究を行います。本コースの卒業生は、製造業、化学、金属、素材メーカー、電気・電子部品など様々な分野で活躍しています。

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における国語、外国語、数学、理科などを中心に、幅広い学習に裏付けされた本学部の専門領域を学ぶために必要な基礎学力・技能

②思考力・判断力・表現力

＊本学部の専門領域の分野を多角的かつ包括的に捉え、それぞれの問題を解決するための論理的思考能力や判断力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊物事を多面的な視点から思考し、自分の考えを他者からもわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性や

コミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊本学部の専門領域のいずれかの分野に興味関心を持って自ら積極的かつ継続的に課題に取り組む意欲と審美眼を持ち、身につけた知識・技術を分かりやすく表現し、共生環境創造、地域社会創造及び国際社会に役立てる意欲・態度

＊技術者として国内外を問わず社会に発信し、生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

＊本学部の専門領域における技術者として、また社会の構成員としての自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において、国語、外国語、数学、理科などを中心に基礎学力を身につけておいてください。本学部の理念を理解し、技術専門職として、他者の意見や価値観を尊重し、他者を思いやることのできるコミュニケーション能力も必要ですので、生徒会活動やクラブ活動・ボランティア活動等を通して、幅広い視野と主体性・協働性を養い、自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

5. 入学者選抜の基本方針

主に高等専門学校又は短期大学の卒業者（卒業見込みを含む。）を対象に、面接及び基礎学力に関する筆記試験を課す「一般選抜」と、高等専門学校卒業見込み者を対象に、工学技術者となる意欲や資質を問う面接（専門分野の知識についての口頭試問を含む。）を課す「推薦選抜」を実施します。

農 学 部

1. 教育理念

香川大学農学部は、先端的かつ総合的な生物科学を基礎に、自然と調和した安全で快適な地域社会を実現するための教育と研究を行うことにより、豊かな人間性と国際的な視野、課題探求能力を備え、生物資源の生産と活用に関する科学と技術を総合的に理解し、生物科学を基盤とする産業界で幅広く活躍できる有為な人材を養成することを目指します。

2. 教育目標

香川大学農学部では、生物資源の生産と活用に関する幅広い知識と技能を身につけ、科学的な思考に基づく課題設定力、国際感覚を備えた判断力及びコミュニケーション力を備え、多様で広範な社会の諸課題の解決に向けて柔軟な思考によって取り組むことのできる「農学の実践力」を持って国際的協働社会の一員として自覚的に行動できる人材を育成します。

3. 教育内容

農学部生の履修する授業科目は「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は幅広い教養を身につけるために全学学生を対象に開設された授業科目であり、「学びと生き方科目」（「学問への扉」、「大学入門ゼミ」、「情報リテラシー」、「ライフデザイン」、「健康・スポーツ」から構成）、「主題科目」、「学問基礎科目」、「外国語科目」、「広範教養教育科目」、「高度教養教育科目」という科目群から構成されています。「学部開設科目」には専門の基礎固めのための「導入科目」と「共通基礎科目」、高度な専門性を身につけるための「コース専門科目」、さらに社会的課題などに視野を広げるための「共通展開科目」が設けられています。

農学部は応用生物科学科の1学科制を採用しています。入学後、まず学部共通の導入科目と共通基礎科目を履修し、生物科学の基礎を身につけます。この間に、自らの学習の方向性と適性を把握し、2年後期からは以下の5つのコースに分かれて専門科目を履修し、学修を体系的に完成させます。編入学生は第3年次生として合格後にコースを選択し履修を開始することになります。ただし、希望のコースに必ずしも分属できない場合があります。

【先端生命科学コース】

近年の生命科学やバイオテクノロジーのめざましい発展により、生命現象や生物が有する機能をゲノムレベル・遺伝子レベル・タンパク質レベルで解明し、利用することが可能になってきました。先端生命科学コースでは、微生物から高等動植物までの様々な生命活動を分子（遺伝子、タンパク質）レベルで明らかにする生命科学の基礎から、その成果を有用生物の開発や生物資源の有効利用へと役立てるための応用技術まで幅広く学ぶことができます。

【アグリサイエンスコース】

豊かな社会の発展に求められる安全で安定的な食料供給と、生活に潤いをもたらす園芸資源の生産開発をめざして、遺伝資源の評価と品種改良、持続可能な生産管理技術と生産環境解析、生産物の流通・利用システムなどを、フィールド技術から生命科学の知識まで幅広く実践的に学びます。さらに、アグリサイエンスの理論を基礎から応用まで体系的に学習し、連携した実験やフィールドでの実習を通じて自ら検証できるユニークな教育体制を有しています。

【フィールド環境コース】

生物と環境との相互作用、環境中の物質循環について学びます。特に里海・里山・身近な水辺を主な対象として、化学的・生物学的手法をはじめとする様々な分野の手法と理論を活用し、フィールド及び実験室で調査解析に取り組みます。さらに、環境問題や生物の利用・管理・保全に対して実践的に取り組む力を身につけます。

【バイオ分子化学コース】

生物は多種多様な分子（有機化合物）を生産し、それらを自己防御や他者とのコミュニケーションに利用しています。バイオ分子化学コースでは、これらの分子の探索、構造解析、化学合成、作用機構の解析などを通して、自然界における生物の生存戦略を理解するとともに、有用な分子や関連する技術・情報などを農業、医薬、食品といった幅広い分野に提供できる人材の育成を行います。

【食品科学コース】

食品の持つ人間に対する種々の生体調節機能を科学的に理解し、食品の（１）機能性（２）安全性（３）嗜好性・加工特性について学びます。講義と実験・実習（学外の工場又は研究所見学なども含む）を組み合わせ、基礎から応用、そして実践的内容のカリキュラムで、安全で、機能性が高く、様々な嗜好性に対応できる食品を開発できる人材の育成を行います。

4. 求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに、以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊農学部専門科目を学ぶために必要な基礎的な知識と技能

②思考力・判断力・表現力

＊課題解決に必要な柔軟で論理的な思考力・判断力と自分の考えを的確に伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊地域社会や国際社会における生物資源の生産・利用に関する広範な諸課題を積極的かつ主体的に探求し、多様な観点で考え、他者と協働して課題を解決するコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊生物と生物資源の生産及びその有効利用並びにそれらの基盤となる生命現象に強い関心を持ち、関連する様々な課題に積極的・主体的に取り組もうとする高い意欲

＊生物関連産業での活躍を希望し、応用生物学の様々な分野の専門知識や技術を意欲的に修得しようとする態度

⑤倫理観・社会的責任

＊生物資源の生産と利用に関わる者として、自然と調和した安全で快適な人間社会を構築するための高い倫理観と社会的責任を理解する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

編入学生は入学後ただちに実験・実習及び学部開設の専門科目を履修することになります。このため、編入学を希望する者は、生物学の様々な分野の学問を理解し、生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶための科学的基礎知識と論理的な思考力を身につけていることが求められます。また、生物資源の生産と利用に関する情報を理解し、自らの論理的思考及び判断をもってこれを説明するプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を身につけるための国語及び外国語の基礎学力を修得している必要があります。

5. 入学者選抜の基本方針

主に高等専門学校および農，理工，生活科学系短期大学を卒業する者を対象とし、合格者は第3年次に編入します。筆記試験では、修学に必要な科学的基礎知識（英語を含む。）と論理的思考力を評価します。面接では編入学後の専門科目への学習意欲などについて、専門的素養を含め評価します。特に、（１）思考力・判断力・表現力、（２）主体性・多様性・協働性、（３）自然科学に対する関心・意欲・態度および（４）倫理性・社会性を問います。

Ⅱ 募集人員

学 部 等	学科・課程	コース・領域	募集人員
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース 小学校教育コース 特別支援教育領域 理科領域 美術領域 保健体育領域 技術領域 中学校教育コース 理科領域 美術領域 保健体育領域 技術領域	若干人
法 学 部 (昼間コース)	法 学 科		10人
経 済 学 部 (昼間コース)	経 済 学 科		20人
創 造 工 学 部	創 造 工 学 科	造形・メディアデザインコース	20人 (推薦含む) (注)
		建築・都市環境コース	
		防災・危機管理コース	
		情報システム・セキュリティコース	
		人工知能・通信ネットワークコース	
		機械システムコース	
		材料物質科学コース	
農 学 部	応 用 生 物 科 学 科		若干人

(注) 創造工学部の募集人員には、別途実施するイノベーション創造型連携教育プログラム特別選抜(若干人)を含みます。

Ⅲ 編入学の時期及び編入学年次

編入学の時期は、2026年4月1日とし、第3年次に編入とします。

Ⅳ 出願について

1. 出願資格及び要件

〔1〕【教育学部】，【法学部】，【経済学部】，【創造工学部】〈一般〉，【農学部】

編入学を志願することのできる者は、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 大学又は専門職大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者
- (3) 短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、旧国立工業教員養成所又は旧国立養護教諭養成所を卒業した者及び2026年3月卒業見込みの者
- (4) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者
- (5) 学校教育法第58条の2に定める高等学校の専攻科の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (6) 学校教育法第70条第1項に定める中等教育学校の後期課程の専攻科の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (7) 学校教育法第82条に定める特別支援学校の専攻科の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (8) 学校教育法第132条に定める専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上であること。）を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）
- (9) 他の大学又は専門職大学に2年以上在学（休学期間を除く。2026年3月までに2年以上在学となる者を含む。）し、当該大学において62単位以上を修得（見込みを含む。）した者
- (10) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者及び2026年3月修了見込みの者
- (11) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (12) 外国の短期大学を卒業した者及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）

(注)

【教育学部・法学部・経済学部・創造工学部・農学部共通】

1. 上記出願資格(9)に該当する者で、2026年3月までに所定の要件を満たす見込みで受験した者が所定の要件を満たさなかった場合は、入学手続きを完了した場合であっても、入学を許可しません。また、退学していない場合も、（二重在籍となるため）入学を許可しません。

【教育学部】

1. 幼児教育コースを志願できるのは、小学校教諭又は幼稚園教諭の普通免許状を有し、かつ、保育士の資格を有する者、あるいは、これらの免許状及び資格を2026年3月取得見込み

の者です。

2. 小学校教育コース又は中学校教育コースを志願するにあたっては、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭のいずれかの普通免許状を有する者（取得見込みの者を含む。）、又は免許状取得をめざして単位取得中の者であることが望まれます。

3. 上記出願資格(9)又は(11)に該当する者で、外国人留学生の場合は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の「日本語」を受験していなければなりません。ただし、日本留学試験が実施されない国において受験する場合には、上記試験に代えて公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験（N1）を受験してください。

なお、日本留学試験の「日本語」については250点以上の成績（記述の成績は含みません。）、また、日本語能力試験（N1）については合格していることが望まれます。

【法学部】

1. 上記出願資格(11)に該当する者で、外国人留学生の場合は、独立行政法人 日本学生支援機構が実施する日本留学試験の「日本語」を受験していなければなりません。ただし、日本留学試験が実施されない国において受験する場合には、上記試験に代えて公益財団法人 日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験（N1）を受験してください。

【経済学部】

1. 上記出願資格(11)に該当する者で、外国人留学生の場合は、独立行政法人 日本学生支援機構が実施する日本留学試験の「日本語」を受験していなければなりません。ただし、日本留学試験が実施されない国において受験する場合には、上記試験に代えて公益財団法人 日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験（N1）を受験してください。

なお、日本留学試験の「日本語」については250点程度以上の成績（記述の成績は含みません。）、また、日本語能力試験（N1）については合格していることが望まれます。

【創造工学部】

1. 上記出願資格(11)により出願しようとする者は、出願資格の有無等の事前協議を行うので、2025年4月11日（金）までに香川大学創造工学部学務係まで申し出てください。

【農学部】

1. 上記出願資格(11)に該当する者で、外国において学校教育の課程を経ている外国人留学生及び帰国子女の者は、履歴書及び卒業証明書の写しを2025年4月25日（金）までに農学部学務係に送付又は持参して、「出願資格の確認」を受けてください。履歴書には、小学校入学から現在までの学歴（正規の修業年限を含む。）を記入してください。

資格確認の結果については、1週間をめどに通知します。

〔2〕【創造工学部】〈推薦〉

推薦に志願することのできる者は、次の要件すべてに該当する者です。

- (1) 高等専門学校を2026年3月卒業見込みで、本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持つとともに、出身学校長が学業成績、人物ともに優れていると認めた者
- (2) 合格した場合は、入学を確約できる者

2. 出 願 手 続

〔1〕 出 願 期 間

学 部 等	期 間
教 育 学 部	2025年8月19日（火）から2025年8月25日（月）まで
法 学 部	
経 済 学 部	2025年6月9日（月）から2025年6月13日（金）まで
創 造 工 学 部	2025年5月7日（水）から2025年5月13日（火）まで
農 学 部	2025年5月7日（水）から2025年5月16日（金）まで

〔2〕 出 願 方 法

編入学志願者は、〔4〕の出願書類等を取りそろえ、検定料を払い込み、本要項添付の「出願用封筒」に必要事項を記入の上封入し、（【創造工学部】〈推薦〉出願は、出身学校長を通して）郵送してください。

次表の各志望学部提出先に、出願期間最終日の17時までに必着（郵送期間を十分考慮してください。）するよう、必ず「簡易書留・速達」で郵送してください。ただし、郵送で出願期間最終日の17時を過ぎて着いた場合は、前々日までの消印（【教育学部】、【法学部】は8月23日（土）、【経済学部】は6月11日（水）、【創造工学部】は5月11日（日）、【農学部】は5月14日（水）までの消印）があり、かつ「簡易書留・速達」であるものに限り受け付けます。

出願期間最終日の9時～17時に限り、出願書類等の持参を認めます。受付場所は志望する学部の学務係です。

〔3〕 出 願 書 類 等 提 出 先

志望学部等	提 出 先	所 在 地 等
教 育 学 部	教務課学務係 (教育学部担当)	〒760-8522 高松市幸町1番1号 TEL (087) 832-1428 (直通)
法 学 部	教務課学務第一係 (法学部担当)	〒760-8523 高松市幸町2番1号 TEL (087) 832-1859 (直通)
経 済 学 部	教務課学務第二係 (経済学部担当)	〒760-8523 高松市幸町2番1号 TEL (087) 832-1813 (直通)
創造工学部	創造工学部学務係	〒761-0396 高松市林町2217番地20 TEL (087) 864-2015 (直通)
農 学 部	農学部学務係	〒761-0795 木田郡三木町大字池戸2393番地 TEL (087) 891-3015 (直通)

〔4〕出願書類等

(1) 【教育学部】，【法学部】，【経済学部】，【農学部】

教育学部，法学部，経済学部および農学部志願者は，次の①～⑭（⑩～⑭は該当者のみ）の出願書類等を取りそろえ，「出願用封筒（本要項に添付）」を使用して提出してください。

	出 願 書 類 等	注 意 事 項
①	編 入 学 願 書	各学部所定の用紙により作成してください。 教育学部志願者は，志願するコース・領域を記入してください。
②	受 験 票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
③	写 真 票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 出願以前6か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm，上半身，無帽，正面向き）を貼付してください。（写真裏面に氏名を記入してください。）
④	志 望 理 由 書	本学所定の用紙（様式1）により作成してください。志願者本人が日本語により直筆で記入してください。（800字以内）
⑤	最 終 学 校 の 卒 業 （ 修 了 ） 証 明 書 等	《出願資格(1)(3)(4)(5)(6)(7)(10)(11)(12)に該当する者》 出身学校所定の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書を提出してください。 《出願資格(2)に該当する者》 学位記の写し又は大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書（授与される見込みの者は学位授与申請受理証明書）を提出してください。 《大学院を修了した者》 提出書類について，事前に志望する学部へ問い合わせてください。 《出願資格(8)に該当する者》 本学所定の専修学校専門課程修了等証明書（様式3）を提出してください。 《出願資格(9)に該当する者》 本学所定の在学期間等証明書（様式4）を提出してください。
⑥	最 終 学 校 の 成 績 証 明 書 等 （ 出 身 学 校 長 が 作 成 し 厳 封 し た も の ）	【教育学部】，【法学部】，【経済学部】 修得単位数が明記された成績証明書。 ただし，外国の大学（学校）を修了した（修了見込みを含む。）者については，本学所定のTRANSCRIPT OF RECORD（様式5）により作成してください。 ----- 【農学部】 修得単位数が明記された成績証明書。在学中の者については，2026年3月までに単位修得見込みの科目について評価の欄に○印を付したものの。 ただし，外国の大学・短期大学等の証明書の場合は，日本語訳及び関連の説明書（修学案内等）を添付してください。
⑦	検 定 料 30,000 円	編入学願書と一連の「振込依頼書（入金票）」及び「領収書」に必要事項を記入の上，下記のそれぞれの期間内に金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く。）の窓口で所定の検定料を振り込んでください（ATMは利用できません。また，振込手数料は振込人負担です。）その際， 必ず編入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。 (注) 通常，金融機関の窓口取扱時間は，平日の15時までです。また，土曜日，日曜日及び祝日は休業となりますので注意してください。 ----- ○振込受付期間 【教育学部】，【法学部】 2025年8月12日（火）～2025年8月25日（月） 【経済学部】 2025年6月2日（月）～2025年6月13日（金） 【農学部】 2025年4月25日（金）～2025年5月16日（金）
⑧	受 験 票 等 送 付 用 封 筒	本学所定の封筒に，志願者の住所（日本国内の住所に限る。），氏名及び郵便番号を明記し，410円分の郵便切手を貼付してください。
⑨	あ て 名 票	本学所定の用紙（様式7）に，志願者の氏名，住所，郵便番号及び電話番号を記入してください。

【教育学部志願者のうち該当者のみ提出】

⑩	教育職員免許状 授与証明書 又は取得見込証明書	教育職員免許状を有する者は、各都道府県の教育委員会が発行する証明書又は教育職員免許状の写しを提出してください。 教育職員免許状取得をめざしている者で、最終学年在学中の者については、学校長が作成する教育職員免許状取得見込証明書を提出してください。
⑪	保育士資格証明書 又は取得見込証明書	幼児教育コースを志願する者は、保育士資格証明書の写しを提出してください。 在学中の者については、学校長が作成する保育士資格取得見込証明書を提出してください。

【教育学部志願者のうち出願資格(9)又は(11)に該当する外国人留学生のみ提出】

⑫	日本留学試験受験票 及び成績通知書	受験票もしくはその写し及び成績通知書（本紙）を提出してください。	} 該当する ものを提出
	日本語能力試験(N1) 受験票及び合否結果通知書	受験票もしくはその写し及び合否結果通知書（本紙）を提出してください。	

【法学部、経済学部志願者のうち出願資格(11)に該当する外国人留学生のみ提出】

⑬	日本留学試験受験票又は 日本語能力試験(N1)受験票	写しを提出してください。
---	-------------------------------	--------------

【経済学部志願者のみ提出】

⑭	T O E I C ス コ ア	2025年6月13日（金）17時までに、TOEIC申込サイトから、香川大学経済学部の申請コード（00023904）を入力し、提出を希望するTOEIC公開テストのスコアを選択し提出してください。（Listening & Reading Testに限ります。原則として2023年6月13日（火）以降に実施されたものとします。）「公式認定証」によるスコアの提出は受け付けませんので、必ず下記のTOEIC申込サイトから提出してください。
		TOEIC申込サイトURL https://ms.toEIC.or.jp/Usr/Pages/Entry/Login.aspx なお、高等専門学校等における英語カリキュラム制度の一環としている場合に限り、TOEIC-IP（カレッジTOEICを含む）の証明書の原本も認めます。（確認した後に返却します。）この場合、英語カリキュラム制度の一環として受験した事の証明として、そのことが記載してある資料（出身学校等の修学案内、シラバスの写しあるいは年間行事予定表等）が必要です。

【農学部志願者のうち出願資格(11)に該当する外国人留学生及び帰国子女に対する注意事項】

履歴書及び卒業証明書の写しを2025年4月25日（金）までに農学部学務係に送付又は持参して、「出願資格の確認」を受けてください。履歴書には、小学校入学から現在までの学歴（正規の修業年限を含む。）を記入してください。

(2) 【創造工学部】

創造工学部志願者は、次の①～⑪（⑩、⑪は該当者のみ）の出願書類等を取りそろえ、「出願用封筒（本要項に添付）」を使用して提出してください。

	出 願 書 類 等		注 意 事 項
①	編 入 学 願 書		創造工学部所定の用紙により作成してください。 志願するコースを1つ記入してください。
②	受 験 票		本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
③	写 真 票		本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 出願以前6か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向き）を貼付してください。（写真裏面に氏名を記入してください。）
④	志 望 理 由 書		本学所定の用紙（様式1）により作成してください。志願者本人が日本語により直筆で記入してください。（800字以内）
⑤	最 終 学 校 の 卒 業 （ 修 了 ） 証 明 書 等		《〈推薦〉志願者並びに〈一般〉志願者のうち出願資格(1)(3)(4)(5)(6)(7)(10)(11)(12)に該当する者》 出身学校所定の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書を提出してください。 《出願資格(2)に該当する者》 学位記の写し又は大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書（授与される見込みの者は学位授与申請受理証明書）を提出してください。 《出願資格(8)に該当する者》 本学所定の専修学校専門課程修了等証明書（様式3）を提出してください。 《出願資格(9)に該当する者》 本学所定の在学期間等証明書（様式4）を提出してください。
⑥	最 終 学 校 の 成 績 証 明 書 ・ 調 査 書 等 （ 出 身 学 校 長 が 作 成 し 厳 封 し た も の ）		《〈推薦〉並びに〈一般〉志願者》 本学所定の調査書の様式（様式6）（必要項目が全て記載されていれば、他の様式でも可）により出身学校長が作成し、厳封したもの。 ただし、出身学校長の調査書が得られない場合は、成績証明書（在学中の者については、出願時まで修得した単位数が明記されたもの及び2026年3月までに修得見込み（予定）の科目について確認できるもの（出願時に履修中の科目については履修登録表、出願後に履修予定の科目については科目及び単位数を一覧にしたもの（様式任意））
⑦	検 定 料 30,000 円		編入学願書と一連の「振込依頼書（入金票）」及び「領収書」に必要事項を記入の上、下記期間内に金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く。）の窓口で所定の検定料を振り込んでください（ATMは利用できません。また、振込手数料は振込人負担です。）その際、 必ず編入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。 (注) 通常、金融機関の窓口取扱時間は、平日の15時までです。また、土曜日、日曜日及び祝日は休業となりますので注意してください。 ○振込受付期間 【創造工学部】 2025年4月25日（金）～2025年5月13日（火）
⑧	受 験 票 等 送 付 用 封 筒		本学所定の封筒に、志願者の住所（日本国内の住所に限る。）、氏名及び郵便番号を明記し、410円分の郵便切手を貼付してください。
⑨	あて名票	本 人 あ て	本学所定の用紙（様式7）に、志願者の氏名、住所、郵便番号及び電話番号を記入してください。
		出 身 学 校 長 あ て	《〈推薦〉志願者のみ》 本学所定の用紙（様式7）に、推薦する出身学校長の学校名、所在地、郵便番号及び電話番号を記入してください。

【〈推薦〉志願者のみ提出】

⑩	推 薦 書	本学所定の用紙（様式2）により出身学校長が作成し，厳封したものを提出してください。
---	-------	--

【〈一般〉志願者のみ提出】

⑪	T O E I C ス コ ア	2025年5月13日（火）17時までに，TOEIC 申込サイトから，香川大学創造工学部の申請コード（00023903）を入力し，提出を希望するTOEIC 公開テストのスコアを選択し提出してください。（Listening & Reading Testに限ります。原則として2023年5月21日（日）以降に実施されたものとします。）「公式認定証」によるスコアの提出は受け付けませんので，必ず下記のTOEIC 申込サイトから提出してください。 TOEIC 申込サイト URL https://ms.toEIC.or.jp/Usr/Pages/Entry/Login.aspx なお，高等専門学校等における英語カリキュラム制度の一環としてしている場合に限り，TOEIC-IP（カレッジTOEICを含む）の証明書の原本も認めます。（確認した後に返却します。）この場合，英語カリキュラム制度の一環として受験した事の証明として，そのことが記載してある資料（出身学校等の修学案内，シラバスの写しあるいは年間行事予定表等）が必要です。
---	----------------------------	--

〔5〕 出願上の注意事項

- (1) 出願書類等が不備の場合は受理できません。
 - (2) 出願書類受理後は、書類の返還及び記載事項の変更を認めません。
 - (3) 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ※ 上記①又は②に該当される方は、香川大学入試課（TEL（087）832-1182）へご連絡ください。
- (4) 編入学願書の氏名と成績証明書・卒業（見込）証明書・修了（見込）証明書の氏名が異なる場合には戸籍抄本を添付してください。

3. 選 抜 方 法 等

【教育学部】

入学者の選抜は、論述試験（筆記試験）、面接及び志望理由書等を総合して判定します。

ただし、論述試験（筆記試験）又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

(1) 配 点

課程	コース・領 域		論述試験	面接・志望理由書等	計
学校教育教員養成課程	幼児教育コース		100	100	200
	小学校教育コース	特別支援教育領域	100	100	200
		理科領域	100	100	200
		美術領域	100	100	200
		保健体育領域	100	100	200
		技術領域	100	100	200
	中学校教育コース	理科領域	100	100	200
		美術領域	100	100	200
		保健体育領域	100	100	200
		技術領域	100	100	200

(2) 論 述 試 験 志願するコース・領域に関連した問題が出題されます。

(3) 面 接 専門的素養を含みます。

【法学部】

入学者の選抜は、小論文、英語及び面接を総合して行います。

ただし、本学が課している試験項目のいずれかを受験していない場合、また、面接点が10点に満たない場合は、不合格とします。

(1) 配 点

小 論 文	英 語	面 接	計
100	100	30	230

(2) 筆 記 試 験 小論文（社会科学に関連した問題）及び英語

英語については、英和辞典（電子辞書を除く。）の持ち込みを認めます。

(3) 面 接 志望理由書並びに成績証明書を参考にしながら質疑応答を行い、「現代社会への関心」や「コミュニケーション能力」等を専門的素養も含め評価します。

【経済学部】

入学者の選抜は、小論文、英語（TOEICのスコア）及び面接を総合して行います。

ただし、本学が課している試験項目のいずれかを受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

また、小論文、あるいは面接の点数のどちらか一方でも5割に達していない場合、不合格とします。

(1) 配 点

小 論 文	英 語	面 接	計
100	100	60	260

- (2) 小 論 文 小論文は、素材となる資料を提示し、その資料について受験者の論述を求めるという形式をとります。評価の観点、資料を的確に理解し分析できているかという点と、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかという点に置かれます。素材は、経済・社会等に関する分野から選ばれます。

- (3) 英 語 英語は筆記試験を行わず、TOEIC（Listening & Reading Test）のスコアを利用します。原則として出願締切日から遡って2年以内に受験したものとします。
利用できるテストはTOEIC公開テストと、大学・短大・高等専門学校における英語カリキュラム制度の一環として行われているTOEIC-IPに限ります。

- (4) 面 接 面接は、個人面接とし、所要時間は10～20分程度とします。出願書類に基づいて質問し、的確な応答をしているか、発言に説得力があり分かり易いか、社会問題について関心があるかなどの観点から評価します。なお、面接内容には、専門的素養を含みます。

【創造工学部】

〈推薦〉

入学者の選抜は、面接及び提出書類（調査書、推薦書、志望理由書）を総合して行います。

(1) 配 点

面 接
450

- (2) 面 接 面接は、提出書類（調査書、推薦書、志望理由書）を資料とし、向上心、論理性、積極性等を評価することを目的とします（専門知識に関する口頭試問を含みます。）。

〈一般〉

入学者の選抜は、筆記試験、TOEICのスコア、面接及び提出書類（調査書、志望理由書）を総合して行います。

ただし、本学が課している試験項目のいずれかを受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

(1) 配 点

英 語	筆記試験	面 接	計
100	200	150	450

(2) 英 語 英語は筆記試験を行わず、TOEICのスコアを利用します。

(3) 筆 記 試 験 工学基礎

次の1～5を併せた範囲から出題し、本学部創造工学科2年次生程度の学力を評価します。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 数学（微積分，線形代数）……………必須 | } 2～5のいずれか1科目を選択
※1～7 |
| 2. 基礎力学（質点系の力学及び剛体の力学） | |
| 3. 電磁気学 | |
| 4. プログラミング | |
| 5. 化学（無機化学，有機化学） | |

※1 造形・メディアデザインコースを志願する者は，2，3，4，5のいずれかを選択することができます。

※2 建築・都市環境コースを志願する者は，2，3，4のいずれかを選択することができます。

※3 防災・危機管理コースを志願する者は，2，3，4のいずれかを選択することができます。

※4 情報システム・セキュリティコースを志願する者は，2，3，4，5のいずれかを選択することができます。

※5 人工知能・通信ネットワークコースを志願する者は，2，3，4，5のいずれかを選択することができます。

※6 機械システムコースを志願する者は，2，3，4のいずれかを選択することができます。

※7 材料物質科学コースを志願する者は，2，3，5のいずれかを選択することができます。

(4) 面 接 面接は，提出書類（調査書，志望理由書）を資料とし，向上心，論理性，積極性等を評価することを目的とします。

【農学部】

入学者の選抜は、筆記試験、面接、志望理由書及びその他の提出書類を総合して判定します。

ただし、筆記試験又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

(1) 配 点

筆記試験	面 接	計
100	100	200

- (2) 筆 記 試 験 本学部応用生物科学科2年次生程度の科学的基礎知識（英語を含む。）と論理的思考力について評価します。

- (3) 面 接 志望理由書並びに成績証明書を参考にしながら質疑応答を行い、編入学後の専門科目への学習意欲などを専門的素養を含め評価します。

4. 試験の日時及び場所等

〔1〕 試験の日時

学部等	月 日	時 間	試験内容	注意事項
教 育 学 部	2025年 9月11日（木）	9：30～11：00	論述試験	志願者が多数の場合は， 9月12日（金）にも面接を実施します。 なお，該当者には，あらかじめ通知します。
		13：00～	面 接	
法 学 部	2025年 9月11日（木）	9：00～10：30	小 論 文	志願者が多数の場合は， 9月12日（金）にも面接を実施します。 なお，該当者には，あらかじめ通知します。
		11：00～12：00	英 語	
		13：00～	面 接	
経 済 学 部	2025年 6月28日（土）	9：30～11：00	小 論 文	志願者が多数の場合は， 6月29日（日）にも面接を実施します。 なお，該当者には，あらかじめ通知します。
		12：00～	面 接	
創造工学部	2025年 5月31日（土）	〈推 薦〉		志願者が多数の場合は， 6月 1日（日）にも面接を実施します。 なお，該当者には，あらかじめ通知します。
		9：30～	面 接	
		〈一 般〉		
		9：30～10：50	筆記試験	
		11：50～	面 接	
農 学 部	2025年 6月12日（木）	10：00～12：00	筆記試験	志願者が多数の場合は， 6月13日（金）にも面接を実施します。 なお，該当者には，あらかじめ通知します。
		13：30～	面 接	

〔2〕 試験の場所

試験は，それぞれの志望学部で行います。

教 育 学 部	（幸町北キャンパス）	（高松市幸町1番1号）
法 学 部	（幸町南キャンパス）	（高松市幸町2番1号）
経 済 学 部	（幸町南キャンパス）	（高松市幸町2番1号）
創造工学部	（林町キャンパス）	（高松市林町2217番地20）
農 学 部	（三木町農学部キャンパス）	（木田郡三木町大字池戸2393番地）

〔3〕 受験上の注意事項

【共通】

- (1) 試験当日は、必ず受験票を持参してください。

なお、受験票は、入学試験個人成績等開示申請の際に必要ですので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

- (2) 携帯電話、スマートフォン等電子機器の使用は禁止します。所持している場合は、電源を切っておいてください。使用した場合は不正行為とみなすことがあります。

- (3) 不正行為のあった場合は、直ちに退場してもらいます。

なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- (4) 試験場には自動車が入構できません。

【教育学部】

- (1) 試験当日は、9時15分までに入室してください。

- (2) 論述試験を欠席した志願者は、面接を受けることはできません。

- (3) 論述試験についての遅刻者入室限度は、9時45分とします。

【法学部】

試験当日は、8時45分までに集合してください。

【経済学部】

試験当日は、9時00分までに集合してください。

【創造工学部】

- (1) 試験当日は、9時00分までに集合してください。

- (2) 集合場所及び試験場所については、試験当日設置する受験者用掲示板で確認してください。

【農学部】

試験当日は、9時30分までに農学部学務係に集合してください。

5. 合格者発表

合格者の発表は、下記日時に本学のホームページ上で合格者受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

なお、電話等による合否の問い合わせには応じません。

学 部 等	日 時
教 育 学 部	2025年10月2日（木） 午前9時（予定）
法 学 部	
経 済 学 部	2025年7月16日（水） 午前9時（予定）
創 造 工 学 部	2025年6月10日（火） 午前9時（予定）
農 学 部	2025年7月11日（金） 午前9時（予定）

香川大学ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/>

合格者は、本人及び保証人（【創造工学部】〈推薦〉合格者は、本人、保証人及び出身学校長）が連署した「編入学確約書」を、下記期日までに提出してください（ただし、【創造工学部】〈一般〉合格者は不要）。なお、期日までに提出しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

学 部 等	提 出 期 日	提 出 先
教 育 学 部	2025年10月30日（木）まで	教務課学務係
法 学 部	2025年10月24日（金）まで	教務課学務第一係
経 済 学 部	2025年8月6日（水）まで	教務課学務第二係
創 造 工 学 部 〈推薦〉のみ	2025年6月27日（金）まで	創造工学部学務係
農 学 部	2025年7月25日（金）まで	農学部学務係

6. 入学手続

合格者は、下記期限までに、入学手続を完了してください。

入学手続書類は、「簡易書留・速達」とし、入学手続期限までに教育・学生支援部教育企画課へ送付してください。

所定の期限までに入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

なお、入学手続に関しての詳細は、2026年1月下旬頃に通知する予定です。

〔1〕 入学手続期限

【教育学部】、【法学部】、【経済学部】、【創造工学部】、【農学部】

2026年3月15日（日）17時まで（必着）

〔2〕 入学手続きに必要なもの

入学手続きに必要なものは、次のとおりです。

- ① 本学所定の誓約書 1 部
- ② 各学部に必要な書類
- ③ 納付金
 - 入学料 282,000円（予定）

授業料（前期分）	267,900円（予定）
（年 額）	535,800円（予定）

なお、入学時及び在学中に納付金が改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

（注） 1. 前期分の授業料については、2026年4月1日から2026年5月31日までの間に納付してください。

また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

2. 納入済の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 入学手続きを行わなかった場合
- ② 入学料を誤って二重に納入した場合
- ③ 高等教育の修学支援新制度の入学金・授業料の減免対象者が減免額を誤って納入した場合

3. 入学料・授業料の納付が困難な学生のために、免除や徴収猶予の制度があります。入学手続き書類送付から手続きまでの期間が短い学部もあるため、申請希望者は香川大学ホームページ（<https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/tuition-info/16198/>）で事前に必要書類をご確認ください。

4. 入学手続きを完了した後、何らかの事情で入学することができなくなった場合は、速やかに入学辞退の手続きを行ってください。所定の入学辞退の手続きを行わない場合は2026年4月1日付けで入学したこととなり、授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

〔3〕 入学手続き書類送付先

【教育学部】，【法学部】，【経済学部】，【創造工学部】，【農学部】

〒760-8521

高松市幸町1番1号

香川大学教育・学生支援部教育企画課

7. 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願書類に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別その他の個人情報）は、入学者選抜、合格通知及び入学手続きを行うために利用します。また同個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学

籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），授業料及び教育研究活動の支援と本学の発展のための活動に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。

- (2) 入学者選抜における個人成績は，入学者選抜の他，調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析，各種統計資料作成）及び合格者の入学後の教務・学生支援関係業務にのみ使用し，本学の関係教職員以外への提供は行いません。また，調査・研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。

8. 障害等のある入学志願者との事前相談について

障害がある等，受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者は，出願に先立ち，あらかじめ本学と相談してください。

また，相談は志願者本人，保護者及び担任教員等，本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。なお，相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので，出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

特に，下表に相当する障害等のある者については，申し出がなかった場合，受験の際，障害等の状態に応じた対応ができなくなる場合もありますので十分注意してください。下表から判断できない場合は，お問い合わせください。

区 分	障 害 等 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち，補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	・ 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・ 肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	・ 慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ・ 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ の 他	上記以外で，受験上，修学上特別の配慮を必要とするもの (例) 発達障害（ADHD，自閉症等），パニック障害，頻尿

〔1〕 相談の方法

申請書（本学所定又は本学が必要とする内容が記されたもの，健康診断書等必要書類添付）を提出することとし，必要な場合は，本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

申請書の様式は，本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/admis-judge-2/）からダウンロードしてください。

〔2〕 問い合わせ先

香川大学入試課 〒760-8521 高松市幸町1番1号 TEL (087) 832-1182

9. 編入学後の履修について

- (1) 編入学者は、各学部の定めるカリキュラムに従って卒業要件を満たすよう単位を修得しなければなりません。
- (2) 出身学校での修得科目(単位)について、各学部が定めた認定基準により単位の認定をしますが、場合によっては、第3年次に編入しても2年間で卒業できないことがあります。
- (3) 修業年限は2年とし、在学可能年数は6年とします。

10. そ の 他

- (1) 募集人員に欠員が生じた場合について

【法学部】、【経済学部】、【創造工学部】

募集人員に欠員が生じた場合には、合格者の追加又は第2次募集をすることがあります。追加合格の通知は、編入学願書に記載されている連絡先に電話で連絡します。

追加合格候補者は、発表しません。また、電話等による問い合わせには応じません。

- (2) ノートパソコン必携について

本学では、急速に進む高度情報化社会においてICT(情報通信技術)を十分に活用できる能力を有する人材を輩出すること、ICTを活用した先進的講義手法により教育力を強化すること、各種配布物や提出物のペーパーレス化を推進することなどを目的として、2021年度の入学生からパソコンの必携化を実施しています。機種等の詳細については合格通知後にお知らせします。なお、特別な事情がある場合は入学する学部の学務係までご相談ください。

V 入試情報の開示について

1. 入学者選抜試験における個人成績等の開示

〔1〕 開示内容

試験成績の開示を希望する受験者には本人の申請により、総合点及び募集要項に記載の配点表に則した項目の得点並びに総合順位を通知します。その際には、受験した学部・学科等における合格者の総合点の最高点、最低点及び平均点についても併せて通知します。なお、総合順位と学部・学科等における合格者の総合点の最高点、最低点及び平均点については、学部別に開示します。

ただし、合格者が10人に満たない学科、課程、コースの受験者には、総合点及び募集要項に記載の配点表に則した項目の得点のみを通知します。

2026年度入学者選抜試験の成績の開示を希望する者は、下記のとおり申請してください。

〔2〕 申請方法

下記①～③の書類を同封し、郵送（レターパックライト）にて申請してください。**郵送以外での申請は認められませんので、ご注意ください。**

① 本学所定の「入学試験個人成績等開示申請書」

申請書の様式は、本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/4192/）からダウンロードすることも可能です。

② 本学の受験票（コピー不可）

受験票を添付できない場合は、運転免許証、健康保険証等のコピーを添付してください。
なお、提出された受験票等は入学試験個人成績等通知時に返却します。

③ 返信用レターパックプラス（お届け先欄に本人の住所、氏名及び電話番号を記入したもの）
レターパックプラスは二つに折って入れてください。

〔3〕 申請書受理期間

2026年4月10日（金）から2026年5月8日（金）まで（当日消印有効）

〔4〕 申請書送付先

〒760-8521 高松市幸町1番1号 香川大学入試課 TEL (087) 832-1182

〔5〕 申請者に対する開示時期

2026年6月中旬頃に、郵送（レターパックプラス）にて本人に通知します。

〔6〕 その他

開示に要する手数料は、無料です。ただし、郵送料は申請者の負担とします。

2. 入試問題の閲覧

(1) 本学入試問題については、香川大学入試課において閲覧できます。

閲覧時間は、9時から17時までです（土曜日、日曜日、祝・休日、本学の夏季一斉休業期間（8月中旬）及び12月29日～1月3日を除く。）。

○ 問い合わせ先：香川大学入試課 TEL (087) 832-1182

(2) 情報提供の一環として、本学ホームページ上においても、入試問題を公表します（原則として過去1年分のみ）。なお、著作権許諾の関係により一部公表できない場合もあります。

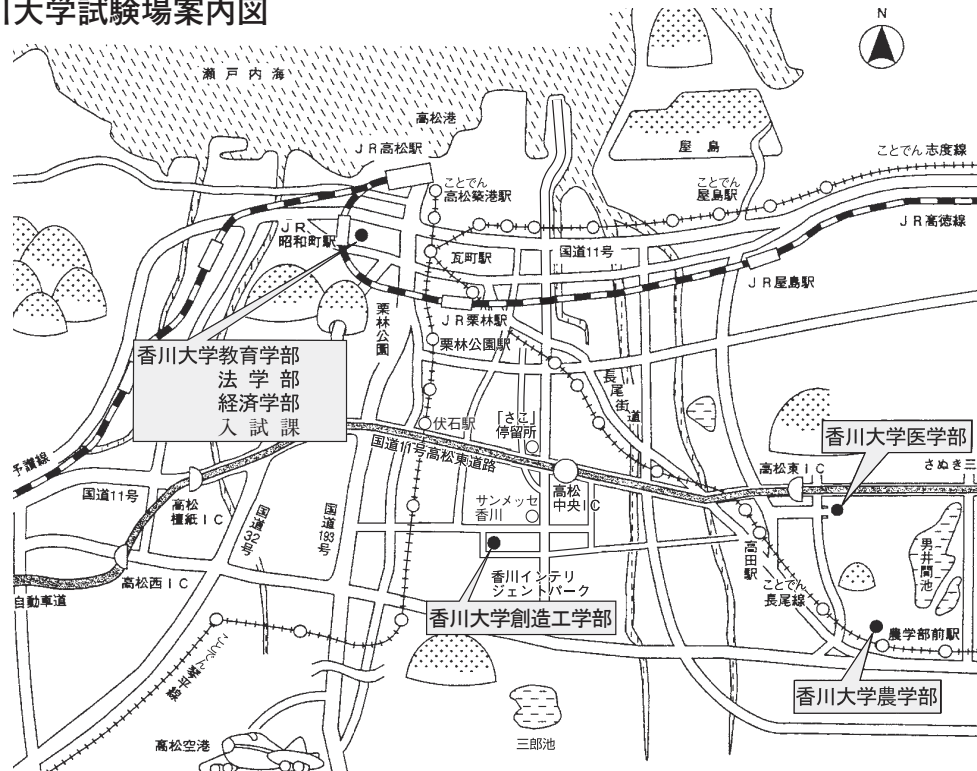
○ 公表予定期間

2025年12月から約1年間（著作権許諾の関係で多少前後します。）

香川大学ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/>

Ⅵ 試験場案内図

1. 香川大学試験場案内図



教育学部・法学部・経済学部・入試課

J	R	高德線「高松駅」→「昭和町駅」下車 徒歩5分（東へ250m）
バ	ス	J R 高松駅発（高松駅前①②番のりば） ことでんバス ⑪下笠居線・昭和町経由便 「高松駅」→「幸町」下車 徒歩2～3分（西へ150m）
		ことでんバス ⑬下笠居線・宮脇町経由便又は⑮イオン高松線（南ルート） 「高松駅」→「宮脇町」下車 徒歩2～3分（北へ150m）
		ことでんバス まちなかループバス ①東廻り ②西廻り 「高松駅」→「香川大学教育学部前」下車すぐ 「香川大学法学部・経済学部前」下車すぐ
		高松空港発 空港連絡バス→「中新町」又は「県庁通り・中央公園前」下車 徒歩10分～15分（西へ750m）
タクシー	J R 高松駅	→ 香川大学 約10分 約800円

創造工学部

電 車	ことでん琴平線「高松築港駅」→「伏石駅」下車 バス約10分 ことでんバス 伏石駅サンメッセ線
バ ス	J R 高松駅発（高松駅前⑧番のりば） ことでんバス ⑥⑤川島線・レインボー通り経由便 「高松駅」→「香川大学創造工学部前」下車 徒歩1分（南へ50m） ことでんバス ⑥①川島線・サンメッセ香川経由便 「高松駅」→「サンメッセ香川」下車 徒歩10分（西へ500m）
	高速バス「高松中央インター南」下車 北西へ徒歩3分（200m）又は ↓「高松中央インターバスターミナル」下車 西へ徒歩5分（380m） ことでんバス ⑥①川島線・サンメッセ香川経由便 ⑥③西植田線 「さこ」→「サンメッセ香川」下車 徒歩10分（500m） ※徒歩の場合、「高松中央インター南」から創造工学部まで約25分（約1.8km） 「高松中央インターバスターミナル」から創造工学部まで約30分（約2.0km）
タ ク シ ー	I R 高松駅→香川大学創造工学部 約30分 約3,500円

農 学 部

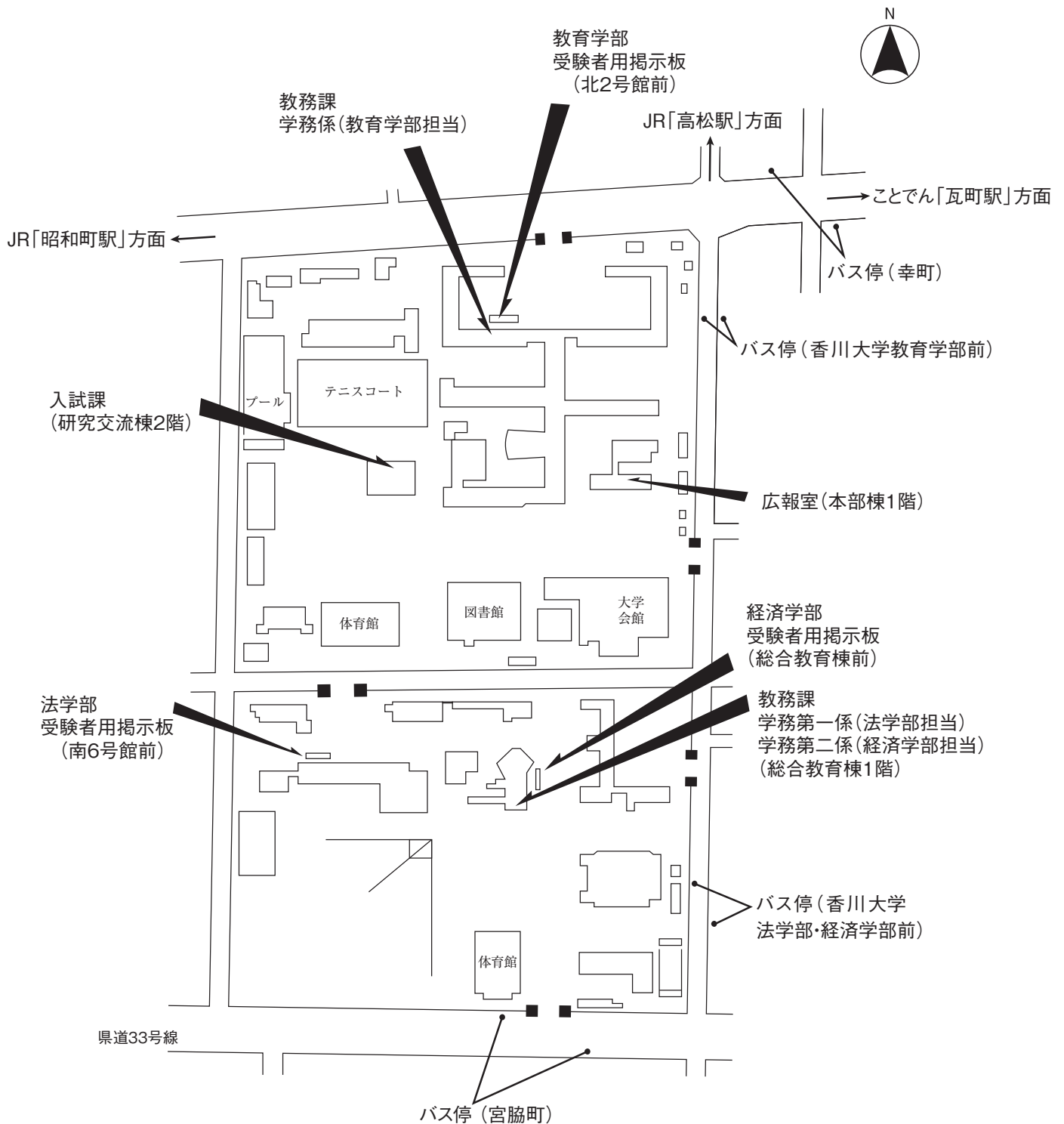
電 車	ことでん長尾線「高松築港駅」→「農学部前駅」下車 徒歩2分（北へ100m）
バ	大川バス 引田線（高松駅前⑧番のりば）「高松駅」→「農学部前」下車 徒歩5分（北へ250m）
タクシー	J R 高松駅→ 香川大学農学部 約40分 約4,400円

（注）電車、バス等の運行時刻については、受験者各自が確認してください。また、バス路線等については、変更になる場合もあるので注意してください。

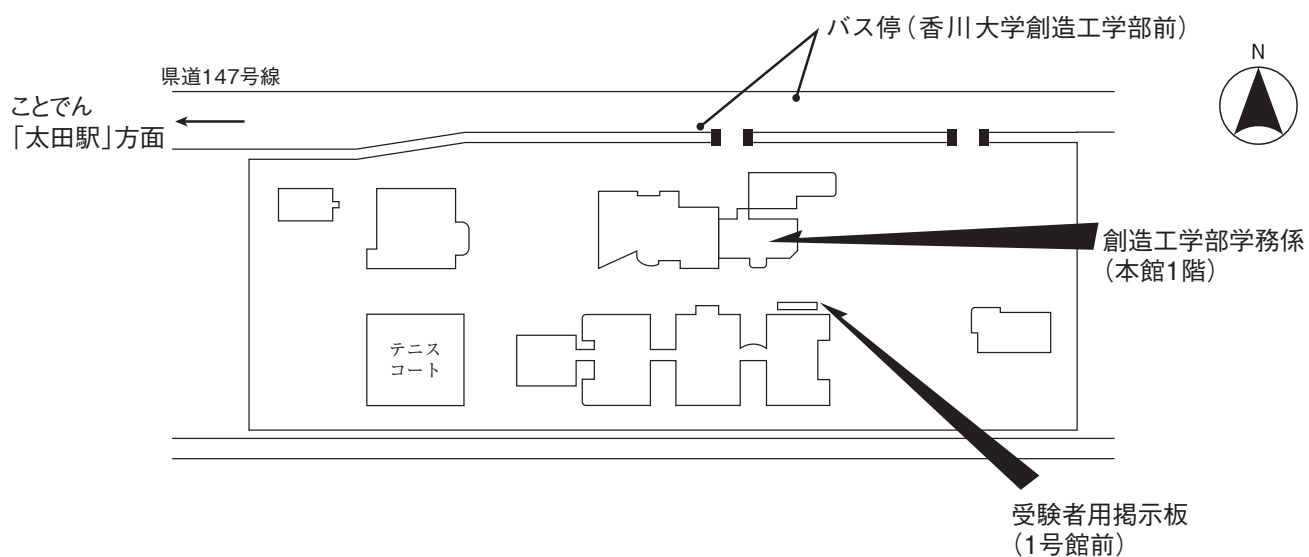
2. 香川大学建物配置図

幸町北キャンパス（教育学部）

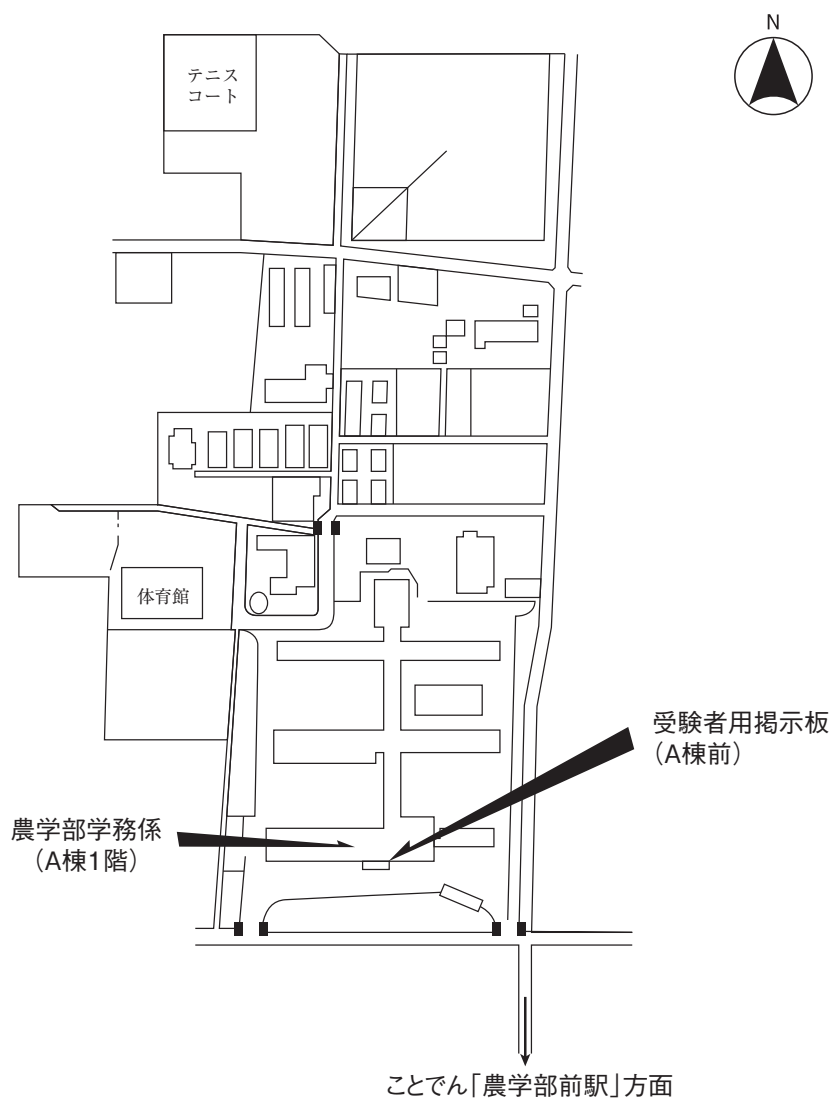
幸町南キャンパス（法学部・経済学部）



林町キャンパス（創造工学部）



三木町農学部キャンパス（農学部）



入学試験等に関する照会先

香川大学入試課	TEL (087) 832-1182 〒760-8521 高松市幸町1番1号
香川大学教務課学務係 (教育学部担当)	TEL (087) 832-1428 〒760-8522 高松市幸町1番1号
香川大学教務課学務第一係 (法学部担当)	TEL (087) 832-1859 〒760-8523 高松市幸町2番1号
香川大学教務課学務第二係 (経済学部担当)	TEL (087) 832-1813 〒760-8523 高松市幸町2番1号
香川大学創造工学部学務係	TEL (087) 864-2015 〒761-0396 高松市林町2217番地20
香川大学農学部学務係	TEL (087) 891-3015 〒761-0795 木田郡三木町大字池戸2393番地

香川大学ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/>

～ 不測の事態発生時等における諸連絡について ～

災害等の不測の事態が発生し、入学試験を予定どおりに実施できない場合等の対応については、上記の本学ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

また、入学試験に関する情報についても本学ホームページ等に随時掲載しますので、試験当日まで注意してご覧ください。